



市ホームページ
二次元コード

このまちに生まれてよかった、 住んでよかった、安心・安全なまちづくり

吉野川市の未来へ

8月31日、令和8年9月吉野川市議会定例会開会日、原井市長は令和8年度のこれまでの成果と今後の市政運営方針についてその所信を表明しました。要旨の一部を掲載します。全文につきましては市ホームページをご確認ください。

子育て・教育の 満足度向上

●子どもはぐくみ医療費助成事業（完全無償化）の開始
3歳から18歳までの通院にかかる医療費について、本年10月診療分から、一医療機関あたり月額600円の自己負担金を廃止し、完全無償化を開始いたします。

これにより、ご家庭の経済状況にかかわらず、お子さんが必要な医療を速やかに受けられる環境がさらに整い、子どもの権利擁護と福祉の向上に寄与するものと考えております。
今後につきましても、子どもたちが安心して育ち、その未来が一層輝くよう、子ども施策を力強く推進してまいります。

子育て応援！ 吉野川市特別給付金

子ども1人あたり5000円の給付金を支給いたします。支給対象は、令和8年12月1日現在、本市に住民登録のある高校生年代までの子どもを養育する

世帯に加え、令和9年3月31日までに子どもが出生した世帯とし、2700世帯、4500人を見込んでおります。
今後におきましても、市民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、市民生活を支える各種施策に鋭意取り組んでまいります。

移住定住・にぎわい 創出の魅力度向上

北海道仁木町との 交流再開事業

来たる10月26日、私、教育長、市議会議長が仁木町にお伺いし、交流再開の証となる「共創パートナーシップ協定」を締結する運びとなりました。
平成の大合併で姉妹都市を解消した自治体が数多くある中において、本格的に交流を再開する自治体は全国的にも珍しいことであり、平成16年以降約20年にわたり交流を続けてこられた方々の熱意と地道な活動に敬意を表しますとともに、改めて両市町の再出発に感慨深い思いでございます。

本協定の名称「共創パートナーシップ」は、本市職員から公募して決定したもので、これまでの歴史的なつながりを大切にしながら、両市町が対等な

パートナーとして、新たな交流や価値とともに創り出していきたいという思いを込めております。

本年度は、仁木町での協定締結とともに、全国初となる「ふるさと住民登録制度」の共同宣言を行う予定でございます。来年度は、メイン事業として仁木町と連携した北海道での観光物産PRイベントを開催し、本市の魅力発信してまいります。

●Mt.高越ヒルクライム2026およびサイクルツーリズムの推進
11月1日に開催いたします「Mt.高越ヒルクライム2026」は、全国で活躍する実業団選手が参加するJBCF（全日本実業団自転車競技連盟）のシリーズレースに登録されたことで、昨年以上に注目されており、会場では、吉野川市商工会の皆様による「高越マルシェ」も同時開催し、官民連携で本市自慢の特産品をPRするなど、大会を通じて地場産業や地域の

魅力を発信してまいります。

また、9月6日に愛媛県久万高原町で開催される「第14回石鎚山ヒルクライム」に私自らE-BIKEで出走し、開会式でPRの機会をいただいております。Mt.高越ヒルクライムの魅力をはじめ、自然豊かで魅力あふれる吉野川市を全国のサイクリストの皆様に向けてトップセー

持続可能な地域づくりと市役所の変革 吉野川市トライアル・サウンディング事業

市役所イベント広場について、「トライアル・サウンディング（実証実験）」の手法を用いて、施設利用の可能性を調査いたします。

具体的には、試験的な利用を希望する事業者などから提案事業を募集し、実際に暫定利用していただいた上で、モニタリングなどを行います。暫定利用期間は、令和8年9月1日から令和9年9月30日までの1年1ヵ月とし、この期間中の施設使用料は無料といたします。

この実証実験を踏まえ、市役所イベント広場の活用によるにぎわいの創出や、適切な施設使

用料の水準など、公共施設利用のルール整備に取り組んでまいります。

ボックス型個室授乳室（ベビーケアルーム）の設置

「フエーズフリー」（平常時と災害時の両方で活用すること）の取り組みとして、工事不要で畳1畳程度のスペースに設置できる「ボックス型個室授乳室（ベビーケアルーム）」を導入し、平常時は市役所本館1階市民ホールで活用いたします。

この「ボックス型個室授乳室（ベビーケアルーム）」は、内側から施錠可能で、プライバシーを確保できるほか、授乳だけでなく、おむつ交換や着替えなどにも対応することが可能となっております。

来庁される市民の皆様の利便性や満足度の向上を図り、安心して快適に過ごせる市役所を目指してまいります。

議会だより

条例

●「吉野川市公告式条例及び吉野川市行政手続条例の一部を改正する条例制定」
●「吉野川市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正

市長所信表明（令和8年9月）

- はじめに ●全国各地の地震、大雨による自然災害
●熱中症予防について
●各種スポーツ大会における本市出身者の活躍
市政の動き ●財政状況について



基本政策の6本柱

子育て・教育の満足度向上

- ピックアップ 子どもはぐくみ医療費助成事業（完全無償化）の開始
ピックアップ 子育て応援！吉野川市特別給付金
●こども Do まんなか会議2026
●小中学校の今後のあり方

暮らし・福祉の満足度向上

- 基幹相談支援センターの設置

移住定住・にぎわい創出の魅力度向上

- ピックアップ 北海道仁木町との交流再開事業
ピックアップ Mt.高越ヒルクライム2026 およびサイクルツーリズムの推進

成長する産業づくりの拡大

- おえクーポン事業の進捗状況

安心・安全なまちづくりの拡大

- 災害復旧対応について
●下水道管路の全国特別重点調査結果に基づく今後の対応

持続可能な地域づくりと市役所の変革

- ピックアップ 吉野川市トライアル・サウンディング事業
ピックアップ ボックス型個室授乳室（ベビーケアルーム）の設置



費の調整などにより、歳入歳出それぞれ732万7千円を減額するものです。

◇「令和8年度介護保険特別会計補正予算（第2号）」

人事異動に伴う人件費の調整のほか、介護給付費準備基金への積立金、前年度実績の確定に伴う返還金などにより、歳入歳出それぞれ702万6千円を追加するものです。

◇「令和8年度水道事業会計補正予算（第1号）」

国が定める地方公営企業繰出金の基準に該当する経費について、一般会計から繰り出した補助金などを水道事業会計で収入とするための補正です。収益的収入として基礎年金拠出金補助金310万円、資本的収入として脱炭素化推進事業への出資金250万円をそれぞれ追加するものです。

◇「令和8年度下水道事業会計補正予算（第1号）」

全国特別重点調査結果に基づく雨水管修繕のため、収益的支出を3000万円追加するものです。

- 予算
◇「令和8年度吉野川市一般会計補正予算（第2号）」
●北海道に木町との交流再開事業 570万円
●子育て応援！吉野川市特別給付金 2356万2千円
●基幹相談支援センター事業 132万円
●道路橋りょう維持事業 7425万円
●統合中学校整備事業 244万8千円
●災害復旧費 6300万円
など、合わせて2億3502万3千円を追加し、補正後の予算総額を、210億6043万4千円とするものです。
◇「令和8年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」
前年度実績の確定に伴う返還金のほか、人事異動に伴う人件